

震災が結んだご縁



両市ともに今後も交流を続けたいと話しました

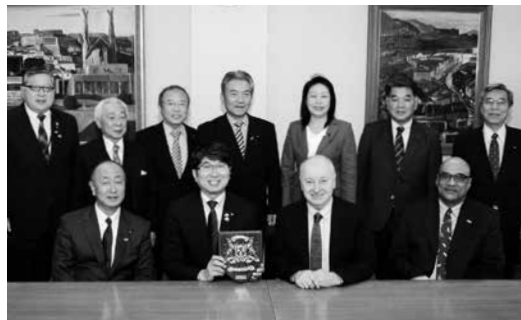
長崎市は東日本大震災の復興支援として、震災により被災した福島市へ職員を派遣しておりますが、今年3月をもって終了することになりました。

1月18日、福島市の山本副市長らが田上市長を表敬訪問し、これまでの支援について感謝の意を表しました。

なお、福島県やいわき市、熊本県宇土市への職員派遣は、引き続き行っています。

■問い合わせ 人事課(☎829-1119)

幕末から続くご縁



より一層の協力関係と友情を育むことを語り合いました

長崎市の市民友好都市である英国スコットランド、アバディーン市のジョージ・アダム市長らが2月6日、田上市長を表敬訪問しました。

アバディーン市は、貿易商トーマス・グラバー氏が幼少期を過ごした地です。今回の訪問がきっかけとなり、さらに交流が深まることを期待します。

■問い合わせ 国際課(☎829-1113)

新たな歴史を刻むために



55年間で1,580人が学びました

1962(昭和37)年に開校した黒崎東小学校。

昨年4月1日に近隣の出津小学校と統合しており、今年4月1日からは現在の場所で「外海黒崎小学校」に校名を変えて開校します。

黒崎東小学校としては3月31日をもって閉校することになるため、卒業生らが見守る中、2月5日に閉校記念式典が行われました。

■問い合わせ 学校教育課(☎829-1195)

命を確実に救うために



迫真の演技、真剣な指導、漂う緊張感

1月20日、救命率の向上を目指そうと、市消防局が県下で初めて企画した「口頭指導技術発表会」を開催。

口頭指導とは、119番通報を受けた通信指令担当職員が通報者に対し、救命のための応急手当のやりかたを指導することです。

長崎市、佐世保市、県央消防本部から計4人の担当職員が、通報者役の電話を受けて指導技術を披露。さらに改善すべき点などを約120人の出席者全員で検証しました。

■問い合わせ 指令課(☎822-0461)